

中野区子ども・子育て支援事業計画の中間の見直しにおける  
教育・保育の需要見込みと確保方策の考え方について

国が示した中間年の見直しのための考え方に基づき、需要見込みの見直しを行い、これに対応した確保方策を検討していく。

1 教育・保育の需要見込みの乖離状況 資料 2 - 1

2 人口推計の考え方

新しい中野をつくる 10 か年計画（第 3 次）で示した将来人口推計ベースにおける 0 歳～5 歳児の人口推計と住民基本台帳における実績値に乖離があるため、乖離状況を踏まえ、人口推計の見直しを行う。

【人口推計の乖離状況】

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
10か年計画将来人口推計ベース ①	12,636	12,882	13,128	13,375	13,622	13,869
住民基本台帳における実績値 ②		13,085	13,344	—	—	—
乖離状況 ②-①	—	203	216	—	—	—

※10か年計画将来人口推計ベースは、平成27年4月1日の実績値をもとに算出

3 需要見込みと確保方策の考え方

平成 27 年度から平成 29 年度における認定区分ごとの潜在ニーズの伸び率や東京都が実施を予定しているニーズ調査等を活用し、教育・保育の需要見込みと確保方策を検討する。

認定区分ごとの潜在ニーズの推移

資料 2 - 2

平成 29 年 4 月の保育施設利用状況

資料 2 - 3

4 （仮称）中央部認定こども園の整備について 資料 2 - 4